

(様式 1-5)

桑折町 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和 7 年 1 月 9 日時点

※本様式は 1-3, 1-4 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	2	事業名	桑折町の歴史・文化を活かした魅力体感・発信事業	事業番号	A-2
事業実施主体	桑折町	総交付対象事業費	40,000 千円		
既配分額	30,000 千円	当該年度交付対象事業費	10,000 千円		
経費区分ごとの費用					
一 地域の魅力向上・発信事業①情報					
① 情報発信事業 小計 10,000 千円					
i) 風評動向調査 千円					
ii) 体験等企画実施 10,000 千円					
iii) 情報発信コンテンツ作成 千円					
iv) ポータルサイト構築 千円					
②外部人材活用 小計 千円					
i) 企画立案のための外部人材の活用 千円					
ii) 地域の語り部の育成 千円					
二 関連施設の改修					
地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修 千円					
風評の払拭に関する目標					
令和 7 年度観光入込客数 127,000 人 (平成 22 年 (96,959 人 福島県商工労働部調べより) 比 30%増)					
事業概要					
事業実施主体	桑折町				
主な企画内容	魅力ある文化財や歴史を活かした桑折町の魅力発信・交流事業				
主な事業の実施場所	国史跡桑折西山城跡や国指定重要文化財旧伊達郡役所、半田銀山など				
事業の実施期間	令和 4 年 4 月～令和 8 年 3 月				
企画内容					
【現状・課題】					
<現状>					
・ 福島県商工労働部公表「福島県観光客入込状況」における本町の年間観光客は、震災前 (平成 22 年) は 9.6 万人だが、震災直後 (平成 23 年) は 3.9 万人、新型コロナウイルスの影響を受ける直前 (令和元年) は 9.2 万人、直近 (令和 5 年) は、7.0 万人となっている。					
・ 農林水産省公表「令和 5 年度福島県産農産物等流通実態調査の結果について」における福島県産桃の価格は、全国平均と比較すると、震災前 (平成 22 年) の -5.9%に対し震災直後 (平成 23 年) は -42.8%まで減少。令和 5 年度には -12.9%となっている。					
<課題>					
・ 東日本大震災及び原子力災害により、福島県の農産物及び土地に対する風評被害が発生してから 11 年間、様々な施策等を講じてきたが、ALPS 処理水の放出による新たな風評被害を生じさせないために、安心安全な農産物及び土地、歴史など魅力が多くあることを引き続き情報発信していく必要がある。					
・ 電車、車で約 1 時間の距離にある大都市仙台圏を中心に効果的な情報発信を行い、比較的近距離からの観光客流入の促進を図る必要がある。					
・ 歴史観光資源を活用し、全国へ情報発信を行い、継続的な観光客流入を促進する必要がある。					
・ 歴史的遺産を保護・活用していく団体の育成や、伝統文化を継承していく若い世代の担い手づくりが課題である。					

【課題に対するこれまでの取組と成果等】

＜課題に対するこれまでの取組＞

本事業においては、令和4年度以降、毎年テーマを定め、テーマに沿ったイベントを開催してきた。

【令和4年度事業】

- ・ 西山城をテーマに、史跡桑折西山城跡を会場とした「桑折西山城まつり～城攻めウォーク K00RI2022～」を開催。桑折西山城跡を各自が巡るスタンプラリーを実施した。

【令和5年度事業】

- ・ 旧伊達郡役所をテーマに、旧伊達郡役所を会場としたイベントを複数回実施した。
- ・ 町特産の桃を使用したPR事業を開催し、桃だけでなく、旧伊達郡役所、町の歴史の魅力を発信した。
- ・ 旧伊達郡役所に関連した歴史と文化を活かした事業「旧伊達郡役所・誕生祭～タイムスリップフェスタ 2023～」を開催し、明治時代を体感できる様々なコンテンツ、町特産品のPRなどを行った。

【令和6年度事業】

- ・ 半田銀山をテーマに、桑折町民体育館を主会場として「半田銀山シンポジウム」を開催し、併せて半田銀山に関連するスタディツアーを実施した。

＜これまでの取組における成果＞

【令和4年度事業】

- ・ 「桑折西山城まつり～城攻めウォーク K00RI2022～」においては、2日間で1,500名が来場し、本町並びに西山城の魅力を発信できた。

【令和5年度事業】

- ・ 旧伊達郡役所内で町特産の桃を使用したPR事業の際に実施したSNSでの配信では、24万を超える再生があった。
- ・ 旧伊達郡役所に関連した歴史と文化を活かした事業「旧伊達郡役所・誕生祭～タイムスリップフェスタ 2023～」においては、1日で3,000名の来場があり、県外からの来場者に対して町の歴史・文化・農作物などのPRを実施できた。

【令和6年度事業】

- ・ 半田銀山シンポジウムにおいては、880名が来場（うちスタディツアー80名、シンポジウム800名）し、新聞各紙（web含む）にシンポジウムの内容の詳細が取り上げられるなど、町および半田銀山の知名度が向上した。

＜目標達成状況＞

令和5年観光入込数は70,648人（福島県商工労働部調べより）を達成。

【今年度事業における具体的な取組内容】

令和7年度は、桑折西山城主・伊達植宗の没後460年にあたるため、伊達氏発祥の地を冠する本町が改めて「伊達氏」をテーマに据え、本町に点在する伊達氏ゆかりの史跡にスポットを当てて、その魅力を発信する。

令和4年度から実施してきた事業では、以下のような反省点があったため、令和7年度ではこれらの経験を活かした計画とした。

令和4年度

山城を会場としたため、会場への車のアクセス並びに会場設営が容易ではなく、雨天の際の対策についても十分に行えなかった。

令和5年度

会場を文化財（現地）としたことでキャパシティが狭くなり、混雑が発生した。

令和6年度

シンポジウムとスタディツアーのプログラム間に時間の余裕がなく、参加者が飲食ブースを回る時間が十分に取れなかった。

上記のような経験から、シンポジウムの実施会場をキャパシティが十分に確保できる町の施設（体育館等）とした。シンポジウム会場付近に飲食ブースを設け、屋外テントも設置する。伊達氏に関連する史跡をめぐるスタディツアーも、シンポジウムと同日に開催する。今回はシンポジウムとツアーの参加者が飲食ブースも十分に巡れるよう、プログラムを調整・工夫する。

また、昨年度事業からのつながりとして、本町で安彦良和先生が本町を題材とした漫画を作成することとなったため、その完成イベントとして安彦先生によるトークショー及び原画展、並びに漫画の舞台をめぐるスタディツアーを開催する。

1 伊達氏を活かした魅力体感・発信事業

実施期間：令和7年5月～令和8年3月

実施体制：桑折町、委託業者

実施場所：町の施設（体育館等）、国史跡「桑折西山城跡」、半田銀山史跡等

概算費用：10,000千円

実施内容：①伊達の城シンポジウム

「伊達氏発祥の地」桑折町にある、伊達氏 14 代植宗の居城であった国史跡「桑折西山城跡」を活用し、委託業者と連携しながら、イベントを企画、開催する。

町の施設（体育館等）を活用し、国史跡「桑折西山城跡」及び、町の魅力を体感・発信するため、著名歴史家、タレント等を交えながら、伊達氏と国史跡「桑折西山城跡」、並びに桑折町の歴史や文化等を紹介するシンポジウムを開催する。トーク・ディスカッションのほかにも、国史跡「桑折西山城跡」を巡るスタディツアーや、民俗芸能「半田銀山祇園ばやし」の披露、桑折町こども歴史案内人による桑折西山城跡の解説なども実施する。同時に、飲食・PR ブースを設置し、町特産品など県外へのPRを実施する。

当日の様子は、撮影、動画編集し、町公式 YouTube 等で全国に情報発信を行う。

本事業のターゲットは、県外（仙台圏域、全国）の伊達氏・山城ファンとし、シンポジウムを通じて、国史跡「桑折西山城跡」・桑折町の魅力を体感してもらい、伊達氏・山城ファンから伊達植宗・桑折西山城・桑折町のファンに繋がる取組を行う。

②安彦良和先生「半田銀山異聞珍聞」完成記念

安彦良和先生が本町（半田銀山）を題材とした漫画を作成するため、その完成を記念するイベントとして安彦先生によるトークショー及び原画展、並びに漫画の舞台をめぐるスタディツアーを開催する。

事業詳細：

①-I. 伊達の城シンポジウム

著名歴史家、タレント等を交えながら、国史跡「桑折西山城跡」並びに桑折町の歴史や文化等を紹介する講演（トーク）・ディスカッションを開催する。

シンポジウムでは、アトラクションとして町内の民俗芸能の披露、町こども歴史案内人による国史跡「桑折西山城跡」の歴史に関する発表を行う。

シンポジウム会場は、桑折町民体育館を想定。ステージ装飾（舞台背景）や、映像プロジェクターを使用し、設営する。

シンポジウム会場は、入場者を事前予約制・最大 400 名とし開催。

伊達の城シンポジウム（I. 伊達の城シンポジウム、II. ウェルカム広場（屋外）、III 伊達の城スタディツアー）の様子を撮影、編集し、町公式 YouTube、SNS 等で発信。町と国史跡「桑折西山城跡」の魅力を県外に発信する。

①-II. ウェルカム広場（屋外）

I. 伊達の城シンポジウムや、III. 伊達の城スタディツアーの参加者だけでなく、多くの方に来場してもらうため、屋外に飲食や、桑折町の PR ブースを設置。飲食ブースは、町内外の飲食店を招致。PR ブースでは、桑折町の観光情報や、伊達氏と国史跡「桑折西山城跡」を含む町の歴史・文化を紹介する。

町内外の飲食店・団体 10 団体を想定し、I. 伊達の城シンポジウム会場付近に設営。屋外テントを設置し、町の特産品、食をPRする。

①-III. 伊達の城スタディツアー

国史跡「桑折西山城跡」を、桑折町歴史案内人の解説のもとで巡るスタディツアー。

ツアールートは、伊達の城シンポジウム会場～観音寺～国史跡「桑折西山城跡」～観音寺～シンポジウム会場とする。（観音寺～国史跡「桑折西山城跡」並びに桑折西山城内は徒歩で移動）

参加者数は、160 名限定・事前予約制とし、大型バス 4 台で運行する（1 台あたり 40 名）。

②-I. 漫画完成記念安彦良和先生トークショー

半田銀山を題材とした漫画（半田銀山異聞珍聞）の完成を記念し、安彦良和先生と、安彦先生と親交の深い声優佐々木るん氏を招きトークショーを行う。

②-Ⅱ. 安彦良和先生「ポスター原画」・「半田銀山異聞珍聞原画」展

安彦良和先生の「半田銀山ポスター」及び「半田銀山異聞珍聞」の原画展。併せて半田銀山の歴史資料展も行う。

Ⅰ. 漫画完成記念安彦良和先生トークショーや、Ⅲ. 「半田銀山異聞珍聞」ゆかりの地めぐりスタディツアーの参加者だけでなく、多くの方に来場してもらうため、安彦良和先生の「半田銀山ポスター」及び「半田銀山異聞珍聞」の原画展を開催する。併せて半田銀山の歴史資料展も行う。

②-Ⅲ. 「半田銀山異聞珍聞」ゆかりの地めぐりスタディツアー

「半田銀山異聞珍聞」ゆかりの地（半田銀山史跡等）を、桑折町歴史案内人の解説のもとで巡るスタディツアー。

ツアールートは、トークショー会場～半田銀山遺跡…(徒歩)…半田銀山鉱業所跡…(徒歩)…銀山集落～(バス)～半田山管理センター…(徒歩)…半田銀山中舗跡…(徒歩)…半田山管理センター～(バス)～トークショー会場とする。

参加者数は、80名限定・事前予約制とし、中型バス4台で運行する（1台あたり20名）。

○各イベントの周知について

東北地方の、特に南東北の情報媒体（新聞社等）や、無料のWEB告知等を活用し、桑折町、伊達氏、国史跡「桑折西山城跡」、半田銀山、並びにイベント情報を発信することで、県外からの来訪、知名度向上を図る。

ポスター・チラシの配布については、①・②の事業それぞれについて、東北地方（特に南東北）を中心とした道の駅、公共施設、観光施設、美術館等にイベント情報のチラシ・ポスターを設置することで、県外からの来訪、知名度向上を図る。（配布先は約500か所を想定。各施設に、チラシ20枚程度ずつを配布する予定。また、主要な施設へは、ポスターについても1枚ずつ配布する予定。）

【今年度事業における目標】

＜アウトプット＞

「伊達氏」を活かした魅力体感・発信事業 シンポジウムの開催 1回
漫画完成記念安彦良和先生トークショーの開催 1回

＜アウトカム＞

「伊達氏」を活かした魅力体感・発信事業 参加者・来訪者数： 期間中延べ5千人

【今年度、事業の実施により得られる効果】

- ・著名な人物を起用し、伊達氏・町の歴史とタイアップすることでの、情報発信の増大。
- ・実際に町に足を運び、様々な内容を体感することで、町の魅力を知り、SNS等での拡散やリピーターになることにより、交流人口・関係人口の拡大を図ることができる。
- ・伊達氏、国史跡「桑折西山城跡」並びに半田銀山の全国に発信できるポテンシャルを活かし、次年度以降継続的に県外からの来訪を促すことができる。
- ・県外の多くの来場者と交流を図ることにより、町民が町の歴史遺産や伝統文化に誇りを持ち、次世代へ継承する機運を醸成できる。